



時を守り 場を清め 礼をつくす

これは、教育学者である森信三さんの言葉です。中学校の川野先生が、中学生に向けて紹介をしてくれました。皆さんの望ましい成長と、調和のとれた学校づくり、地域づくり、社会づくりを目指して話をしてくれました。難しい言葉ですが、伝えたいことはとても分かりやすいです。整理してみたので、小学生の皆さんも、大人の人と一緒に読んでみてください。

【時を守り】

時間を守ることで、時間の約束を守ること、待っている相手を尊重することになります。そして、あなたは自己管理ができて責任感のある人だと相手から信頼されることになります。

- ・余裕をもって登校する。
- ・授業前に授業の準備や提出物を整える。
- ・休み時間を上手に使う、心を整える。

信頼されるとは、あなたのことは信じられるよということです。相手に信じてもらえる自分になれるよう、私も心がけています。信じてもらえるなんて、うれしいですね。

【場を清め】

掃除をすることですね。身のまわりの環境を整えることです。環境を美しく整えることで、心が整い、心がみがかれます。

- ・気づく人になれる。
- ・美しいものを美しいと思える心が育つ。
- ・みんなのために力を出している人への感謝の心が育つ。

「そうじは心。心を見がく」と、校長室の扉に掲示してあります。人が生活していたら、よごれるのは当然です。そのよごれをそのままにしておかず、見つけて美しくすることを続けていきたいです。スリッパをそろえる、靴をそろえるといったことも、心を見がくきっかけになりそうですね。

【礼をつくす】

あいさつをすること。その場や相手に応じて、ふさわしい言葉を使い分けること。感謝の心を表すことです。言葉や態度、身振り手振り等を上手に使いましょう。

- ・朝夕のあいさつを、家庭、地域、学校で元気よくする。
- ・授業の始めと終わりのあいさつをきちんと行う。
- ・相手が自分に、自分たちにしてくれていることの意味に気づき、ありがとうと伝える。

あいさつは、自分の心を開いて相手と接するという意味があります。相手と話をするきっかけにもなります。周りの人と良好な人間関係が築けます。

あいさつとは違うかもしれませんが、私は、行列のできる店や病院等で、受付の人から「山田さん」と名前を呼ばれたら、私は、必ず返事をするようにしています。返事をして立ち上がれば、受付の人が分かりやすいだろうと思っています。返事をするすることで、自分はここにありますよ。受付のお仕事ありがとうございますと伝えられるのではないかなと思っています。

これら三つの言葉に共通するのは、相手への思いやりです。わたしたちは誰かに支えられ、誰かを支えることで生活が成り立っています。だからこそ、自分も相手も大切にしていきたいものです。「公共のマナー」とともに、「時を守り 場を清め 礼をつくす」について考え、生活していきましょう。いい学校づくりにつながると考えます。